

平成30年9月28日開催

総務常任委員会資料【所管事務調査】

地方創生の取組状況について

- 地域再生計画 テーマ1「城下町高田の歴史・文化をいかした『街の再生』」 1
- 地域再生計画 テーマ2「雪室・利雪による地域産業イノベーション」 2

- 市では、平成28年8月に認定を受けた地域再生計画に基づき、高田地区の歴史・文化遺産を活用した街の再生に向けて、地方創生推進交付金等を活用しながら、街なか居住の促進や交流人口の拡大に関する各種取組を一体的に推進している。
- 平成29年度は、シェアハウス大町の整備が完了し、入居を開始したほか、ワークショップの開催等、市内外に町家の魅力等を発信した。また、2つの100年建築(映画館・老舗 料亭)を核とした誘客促進事業を実施したほか、旧今井染物屋における体験教室の開催等に取り組んだ。
- 平成30年3月には、これらの取組や今後の計画が評価され、国土交通省と内閣府が選定する「地方再生コンパクトシティのモデル都市」に県内で唯一選定された。

平成29年度に実施した事業 117,412

(単位:千円)

■ 地方創生推進交付金関連 31,908

<地域再生計画の概要>

計画期間: H28～H32(5年間)

計画の目標: 「住んでみたいまち、訪れてみたいまち」の実現
コンパクトシティによるまちづくりの推進

<地域再生を図るための事業内容>

■ 街なか居住の促進

- 学生用町家シェアハウスの市場化社会実験
 - ・ 繰越工事 5,032
 - ・ 備品購入費他 2,832

■ 街を支える経済基盤の強化

- 「100年映画館のあるまち」誘客・回遊強化事業 3,910
- 「百年料亭のあるまち」誘客・回遊強化事業補助金 2,000
- 「町家ビジネス」の展開
 - ・ 旧今井染物屋の活用 2,325
 - ・ 体験コンテンツモデル事業等 996
 - ・ 町家シェアハウスに係る市民参画ワークショップ 1,407
- 市民によるもてなしと体験コンテンツの整備
 - ・ 高田の「食」をいかした経済効果拡大事業補助金 1,000
 - ・ 市所有の町家の公開による情報発信等 1,206
 - ・ 地方創生推進事業補助金 619
- 住民主体の景観形成活動の促進
 - ・ 南本町三丁目の景観まちづくり活動の支援 6,282
- 地方都市の街なかの生活環境と空き家等を活用した企業誘致
 - ・ テレワーク実証事業委託等 4,299

■ 地方創生拠点整備交付金関連 85,504 (H28→29繰越)

<地域再生を図るための事業内容>

■ 街を支える経済基盤の強化

- 街なか拠点施設整備事業(旧第四銀行高田支店活用事業) 85,504

■ 主な成果

<シェアハウス大町の整備・入居開始・情報発信>

- ✓ 事業内容: 若者のまちなか居住を通じた地域活性化、空き家となった町家の市場流通・利活用方策の検討を目的としたモデル事業として、築100年を超える町家を学生用シェアハウスとして整備
- ✓ 成果: H29.9月に入居開始(H30.4月から満室)等



<漆喰塗りワークショップ>



<交流の場となる土間・フリースペース>

<百年料亭の魅力をいかした誘客と回遊>

- ✓ 事業内容: 全国の料亭と連携し、百年料亭の魅力をいかした市内への誘客・回遊のほか、料亭文化の認知度を高める取組を支援
- ✓ 成果: 旅行商品造成による外国人観光客の誘客等

<高田まちかど交流館の改修>

- ✓ 事業内容: 旧第四銀行高田支店のホールの多目的利用に向けた改修
- ✓ 成果: 地元商店街等の来訪者増加に向けた施設整備を完了等



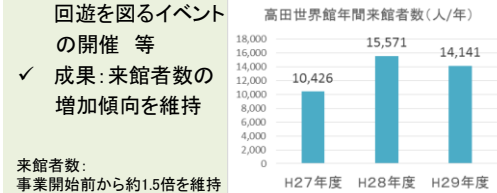
<開館記念イベント>



<外観>

<100年映画館を活用した誘客と回遊>

- ✓ 事業内容: 広域誘客イベントや地域との交流・回遊を図るイベントの開催等
- ✓ 成果: 来館者数の増加傾向を維持



評価指標 (KPI)				評価
指標	事業開始前	目標値 (H30.3末時点)	実績値	
高田区の人口の社会減の解消数 (H22～H26の平均値△192人/年からの削減数) (単位: 人/年)	0人	15人	38人	・ KPIを達成 ・ 計画どおり推進する。
高田区の街なかの観光客入込数 (単位: 人/年)	228,971人(H27)	286,000人	227,251人	・ 大規模集客イベントのほか、日常的な来訪者の増加につなげる取組を促進する。
新たに入居した空き家、空き店舗の数 (単位: 件/年)	1件(H27)	4件	8件	・ KPIを達成 ・ 計画どおり推進する。

- 地域資源の雪と、雪国ならではの食文化・技術を活用し、雪室商品と雪下・雪室野菜の高付加価値化による産業振興に加え、観光誘客や雪国文化の継承、地域愛の醸成に向けて官民が連携して取り組んでいる。
- 推進組織「雪室推進プロジェクト」による雪室商品の開発や市内外への魅力発信、市内飲食店での雪室グルメの提供とともに、JAえちご上越による雪下・雪室野菜の栽培促進や加工品の開発などが進展した。

平成29年度に実施した事業 34,028

(単位:千円)

■ 地方創生推進交付金関連 25,795

■ 主な成果

<地域再生計画の概要>

計画期間：H28～H32

- 計画の目標：・雪室商品等の高付加価値化、販売拡大による産業振興
・観光誘客の拡大
・雪国文化の継承や地域愛・誇りの醸成

<地域再生を図るための事業内容>

- 1) 雪室商品の開発促進、販売拡大
 - ・雪室商品の開発支援 3,399
 - ・SNS等による情報発信、食品貯蔵効果の調査、「雪室グルメフェア」の開催等の支援 11,285
 - ・雪室の設備整備 1,454
- 2) 雪下・雪室野菜の販売拡大
 - ・雪下・雪室野菜の栽培促進、加工品の開発、PR活動、首都圏での市場調査等の支援 2,787
- 3) 観光誘客、雪国文化の承継
 - ・首都圏等への雪国・雪室商品の魅力発信、モニター調査の支援 2,290
 - ・灯の回廊事業 4,181
 - ・雪室、雪利用を学ぶ環境講座 399

<雪室商品の開発>

- ✓ 事業内容:食品事業者による雪室商品の開発等に要する経費の一部を補助
- ✓ 成果:7事業者が開発に取り組み、16商品が商品化



雪室銘茶プリン



雪室食パン



雪室羊羹

<雪下・雪室野菜の販売拡大>

- ✓ 事業内容:JAえちご上越による販売促進イベントや加工品開発、「雪下・雪室研究会」の活動等を支援
- ✓ 成果:販売額が増加(H26比で3.4倍)



首都圏市場調査



加工品の開発

<推進組織「雪室推進プロジェクト」の取組>



参加事業者は19者から48者(30.8)に増加。SNS等で情報発信



雪を用いたPRイベント「雪室サマーステーション」



市内飲食店と連携して「雪室グルメフェア」を開催



イベントでの雪室商品の販売(灯の回廊)

■ 地方創生拠点整備交付金関連 8,233 (H28→29繰越)

- 1) 雪室等施設の改修・整備
 - ・農産物直売所の改修・見学ルートの整備
- 2) 雪室商品の販売強化・雪室利活用の情報発信
 - ・雪室商品等販売促進イベントの実施
 - ・雪室・雪利用説明パネルの設置、ホームページによる情報発信

評価指標(KPI)

指標	事業開始前	目標値 (H30.3末時点)	実績値	評価
推進組織に参加する食品事業者・農業者の年間売上額(合計額:推計値)(単位:千円)	7,664,000千円 (H24経済センサス)	7,817,000千円	8,192,290千円	・KPIを達成 ・計画どおり推進する。
雪下野菜及び雪室で貯蔵した野菜の年間販売額(加工品を含む)(単位:千円)	10,062千円 (H26)	35,000千円	33,711千円	・KPIを相当程度達成 ・市内外へのPR・販売促進を図る必要がある。
雪室を利用した商品販売や集客を行う市内直売所・レストランの年間入込客数(単位:人)	99,600人 (H27)	178,000人	134,974人	・KPIを未達成。 ・雪利用の歴史・文化・食を一体で発信し、誘客を図る必要がある。